

測定値が維持管理計画値を超過した理由(＊)

平成26年度 維持管理状況(1月1日～31日)＜工場設置計器の測定結果＞より

- ① 有明清掃工場 2号炉 1月24日(土) 5:00
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定計器で208ppmを記録した。
原因は、ごみ投入ホッパにおいてごみが閉塞し、焼却炉内へのごみ供給量に対して燃焼空気量が過剰となり酸素濃度12%換算値が上昇したことによる。
直ちに、閉塞解除装置による解除作業及び燃焼空気量の調整を手動操作で実施した。
その後、閉塞解除作業にさらに時間を要すると判断したため、焼却炉を立ち下げた。
なお、焼却炉を立ち上げ、定常運転に移行した後は、維持管理計画値以下を維持した。